

第27回恵那市歴史的風致維持向上計画協議会 会議要旨

日時：令和7年3月13日（木曜日） 15：00 ～ 16：35

場所：恵那市共同福祉会館2階研修室

公開又は非公開の別 公開

出席者

出村嘉史会長、後藤俊彦副会長、森川彰夫委員、堀誠委員、高井哲也委員、
鈴木幸宣委員、長谷川公盛委員

欠席者

長谷川良夫委員、鈴木繁生委員、石井伸吾委員

傍聴者 0名

1. 開会 (15 : 00)

2. あいさつ

出村嘉史会長よりあいさつ。

3. 議事

第 2 期恵那市歴史的風致維持向上計画中間評価について

- ・資料 1 恵那市歴史的風致維持向上計画中間評価

資料 1 に基づき事務局から説明

【森川委員】

町の中心部に大きな公園が無い。恵那市では子どもたちを遊ばせるようなところが少ない。各務原市では岐阜大学の跡地に大きな公園があるので、羨ましいと思っている。

【出村会長】

17 ページの令和 5 年の協議会におけるコメントについて、令和 5 年の議題でポケットパークや中央公園の整備で賑わいを取り戻す観点で整理した。その結果、本当にそれが達成できているのだろうかという理念がこの中で議論されていたと思う。

「歴史的風致と絡めた公園整備や拠点としてのソフト事業が進められると、この計画に沿ってくる。」となっている。つまり、今は沿っていないという書き方になっているが、もっと前向きに書くか、自己反省的に書くかどちらかに修正してほしい。

整備したことに対して否定的な意見を書きたくないというのは大変よくわかるが、それを振り返らないといけない。要するに目的に沿って整備した。その効果はこれから試されるという話だと思う。確か、令和 5 年の会議の中では、「計画の中にどうやってそれを使っていくかっていうビジョンが全然ないまま作っていませんか。」という話だった。

今の意見で出た各務原市での公園の使い方というのは、実際に公園を使い倒している風景がある。そういうところにすごくびっくりしたという話だといえる。

中間評価を通して、公園の将来の姿みたいな展望が見えるようであれば、こういうところでも出していただけるとありがたい。

【堀委員】

中山道沿いに人が増えたことと、大井町民では今まで気づかなかった「こんなところがあった」という大きな気づきが改めてできたというのが歴まちの大きな成果だと感じてい

る。

先ほど出た公園の件に関連して、公園用地として市が購入した土地が市川旅館の前にあるが、あの土地を活用してほしい。現在は駐車場みたいな使われ方になっている。

また、令和 6 年度の道路美装事業が遅れているとのことだが、今後の予定を聞きたい。

【事務局】

計画の 168 ページに記載されている道路美装事業は令和 3 年度及び令和 6 年度で実施する予定でした。令和 3 年度は計画通り完了しているが、令和 6 年度事業については資材の遅れ等が生じている。令和 6 年度の繰越事業という形で予定より 2 カ月遅れの 5 月末に完成する予定。

【出村会長】

今回、この事業を個別に評価する項目はあるのか。

【事務局】

個別事業項目としては 3 ページの 7 番の項目になるが、10 文字程度の枠しかないため、中間評価で一事業を評価することはできない。

【後藤副会長】

岩村町の伝建地区内にある「美術の館」について、原田芳洲の作品を集めて「原田芳洲記念館」と名前を変えたほうが良い。原田芳洲は岩村出身の肖像画家で、市内に作品がたくさん残っている。今の「美術の館」は観光案内所みたいな使われ方をしている。

【堀委員】

14 ページの山岡町の寒天産業の項目について、かんてんかんの中にある日本で最初の寒天資料館を作った記載が無いが、ここには記載できないのか。

【事務局】

寒天資料館は第 1 期計画の時点で作られているため、記載されていない。

【出村会長】

今の山岡町の寒天の項目について、歴史的風致シートとして寒天の歴史的風致で載っているが、なんか政策とかを実施しているのか。

【事務局】

第 2 期計画の中間評価時点では実施していない。

【出村会長】

この記載内容では弱い。今後の対応というところが重要だが、SNS が唯一の産業発展策となっている。この風景は残っていますというときに、今後もこの風景は残るところはどうでもいいと思えてしまう。

この産業を次の世代に残していくために行っている事業については、市役所内での担当が異なっても記載したほうがいい。

農業がつつがなくやっていたら農業、産業がつつがなくやっていたら産業というのがうまくいく風景であるが、それを歴史的風致としているからには、そこに何らかの仕組みでサポートしないといけないと思う。サポートの仕方が色々あるが、例えば「課題がどう見えているか。」というところはちゃんと示しておいた方がいいと思う。

【堀委員】

寒天生産業者は最盛期には 300 件ぐらいあったが、今は 13 件ぐらいになっている。昔は蛭川や武並でもやっていた。山岡町に県の寒天研究所がある。だから本当大事にしてほしい。細寒天は日本で有名な和菓子屋さんと契約も結んでいる。

【出村会長】

歴史的風致とすごく強く結びつくのは、やはり観光産業だと思う。観光に来た人たちがここに対してお金を落としてくれるっていう仕組み、要するに寒天を売るという、産業ではないところからサポートとか、産業を維持させるための政策とかは無いのか。

【堀委員】

一番ヒットしているのが、明知鉄道の寒天列車。期間限定で運行している。

【出村会長】

堀委員が発言した施設やイベントといった他部署の施策を絡めて書くと、産業振興に目を向けた未来を描けると思う。

【高井委員（代理：鷺見係長）】

15 ページの伝統芸能の継承について、こういった活動は自治会とかで、自分が地元の中で活動していることについてはよく知っているが、少し活動から離れると自分の地域で

この活動が盛んであるということが、わからなかったりする。最近では地域と直接関わりの無い人が地域の伝統芸能に参加するなど、外部から後継者や担い手を探したりしていると思う。恵那市ではどのように担い手を確保し、伝統芸能の認知度をどのように広げているか教えてほしい。

【事務局】

高齢化によって活動ができないという懸念が各団体から意見としてあった。しかし、小中学校のクラブ活動などに団体の方が出向き、次の世代に伝統芸能を体験してもらう機会を作って担い手を育成している。また、歌舞伎俳優の中村いてうさんが来て指導したり、中村屋が恵那の芝居小屋まで来て講演をしたりするなどをしている。そういった活動を小学生、中学生が見て興味を持ってもらう環境を作っている。

三郷歌舞伎が衰退していたが、復活して地元で芝居ができるようになった。高齢化が進んで担い手がいなくて次の世代へ受け継いでいく取組が 8 団体でなされている。文化振興会が市の補助を受けてこれらの団体を束ねて活動している。

【出村会長】

今後の対応のところに「市全体で参加者のつもりになって」と書いてあるが、具体的な事例はあるのか。

【事務局】

例えば、一昨年の伝統芸能大会で、中村いてうさんがプロデュースし、「1つのものを作り上げる」ということで、中山太鼓を伝統芸能団体の皆さんが叩いてみようということをやった。皆さんが体験をできるようなことを企画している。

【出村会長】

岐阜の地歌舞伎に出たことがあるが、すごくいいコミュニティになっている。そこに集まっている人たちが、「次どうする」とか言いながら地域で活動している。それがあると町はまだ生きているという感じがする。それはしっかりと進めていただきたい。

【鈴木委員（代理：服藤課長）】

広報えな 3 月号に、地歌舞伎の特集を組んでいる。地歌舞伎の紹介や魅力を伝える記事となっている。そういった特集を組んで、「興味のある方はいませんか」みたいな PR をしている。

また、4 月の地歌舞伎の大会や小学校でチラシを配って PR をして、興味のある方は保

存会の方に行って体験してもらうことを考えている。

【出村会長】

何らかの後押しがあると入りやすいと思う。直接的に声かける的な話があると、実際に増えていくと思う。

【鈴木委員（代理：服藤課長）】

来てもらった子どもに手渡しをして、一度お客さんとして来てもらって「演者とかでやってみたい」となるような仕組みを作りたい。

【長谷川（公）委員（代理：大宮課長）】

先ほどの中央公園整備について、中央公園は元々いつ行っても子どもがいない公園で、夕方になると不気味な場所になっていた。

小さい子どもが集まれる公園が恵那には無いということで、再整備を行ったのが中央公園。こども園などに意見を聞いて、水場を作ったりしている。再整備したことで人が集まる公園にはなったと思う。中央公園では団体さんがマルシェなどのイベントを年に数回程度行っており、人が公園に集まる機会もできつつある。ただ最初に言われたように、これをどう持っていくかがこれからの課題だと思う。

【出村会長】

賑わいを取り戻す観点で整備したと書いてあったが、子どもたちの場所とか遊び場とか、どのように検討したか。

【長谷川（公）委員（代理：大宮課長）】

中央公園改修検討委員会でどのような公園が良いかを検討した結果が中央公園に反映されている。

【出村会長】

今、説明があった達成点は記録しておくべき。で、今後こういう機会あったらどうするという時に、ちゃんと活かせるように準備をしておくことがすごく重要だと思う。ポイントとしてどこかにそのことを反映できないか。中央公園は歴史的風致維持向上計画の中ではどういう位置付けでどのような評価なのか。

【事務局】

中間評価の中に中央公園の個別評価を書くとなると、全体の課題対応シート内の今後の対応などで中央公園について書くしかない。

【出村会長】

中間評価に書かれている個々の事業報告はそれぞれ成果が比較的わかりやすいが、18ページの全体の課題を見てみると、後ろ向きの姿勢が貫かれているように思う。ここの書き方としては、攻めの要素が本当は欲しい。それがあまりないとしたら、それが課題であると思う。

だからこそ全体を通したこれを達成したいというビジョンが欲しい。市民それぞれが思い描く像がバラバラになる。「恵那の守りたい価値はどういう風なイメージをみんな持っているの。」というところを見える化する努力がどうしても必要になる。それに向かって本当にそれぞれの事業が良い成果を出しているのかわかるようにしないといけない。

歴史的風致維持向上計画が補助金に基づいたお金の配分が後ろにあるのは当たり前なので、どこに投資をしたらどれだけのリターンがあるかというものが読めるようにしないといけない。次に目指すべきものとしては、行く道をちゃんと仕立てて、何を達成すべきかを示す、こういうのを発信したほうがよいと思う。

今、配布されている概要版の資料では何を達成すべきかがわからない。だとしたらもう1つ違うやつを用意するとかをしないといけない。補助金という投資からリターンがどんどん生まれるような仕組みにしないと、この計画は成り立たない。リターンというのは金額ではなく、その文化を元気な形で次に伝えることができることが重要。中間評価シートに金額が1つも入っていないのは、補助金の評価シートとして大丈夫なのか懸念もしている。

【鈴木委員（代理：服藤課長）】

恵那市の総合計画のサブテーマである「誇り・愛着を持ち 住み続けるまち」から落とし込めるものがあればいいと思う。令和8年度に見直しされるため、課題などの議論をすすめている。そういったものを汲み取って、この協議会でも決めていけばいいと思う。

【出村会長】

大変重要な視点だと思うし、上位計画と揃えてやっていくと効果すごく高まると思う。歴史的風致維持向上計画としてはどういう風にブレイクダウンするかという議論をするにはちょうどいいタイミングかもしれない。

【鈴木委員（代理：服藤課長）】

新しい総合計画でも、KPI とかが出てくるため、そことも連携していけると良い。令和 8 年度スタートなので、今年から議論していく。今、そういった場を立ち上げているため、併せて歴史的風致維持向上計画の議論をしていくことが良い。

4. その他

【事務局】

- ・今後のスケジュールについて
資料に基づき事務局から説明。

【出村会長】

パブリックコメントの意見の反映の検討の後に、今回の議論の続きを行うことができるか。

【事務局】

パブリックコメントの意見の反映のみだと時間が余ると思うので、議論の続きを行うことは可能。

7. 閉会 （16：35）